

# 気候変動適応戦略イニシアチブ

## ～グリーンイノベーションによる低炭素社会の実現に向けて～

平成22年度予算案:1,618百万円  
(平成21年度予算額:776百万円)

### 政策的背景※

- 低炭素社会構築を国家戦略に組み込み、地球温暖化対策の基本法の速やかな制定を図る。※既提案案では観測、予測、影響評価、適応、革新的な技術開発の推進等を規定【民主党政策集INDEX2009、三党連立政権合意書】
- 地球温暖化防止に向けた緩和策と適応策の両面からの研究開発の加速化・新技術創出のため、これらの施策を最重要政策課題と位置付け、資源を重点配分する。そして、その研究開発成果の実利用・普及を強力に推進するために社会システムの転換を図り、新産業の創造や国民生活の向上に資するグリーンイノベーションを推進し、我が国のみならず世界規模での経済と環境が両立した低炭素社会の構築に努める。【平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針(総合科学技術会議)】

### 施策の概要

グリーンイノベーション創出による低炭素、循環型、自然共生の社会構築に貢献するため、解析処理プラットフォームを活用しつつ、最新の気候変動予測データを地域の影響評価研究に適用するためのダウンスケーリング手法の開発や、データ同化技術の開発、適応シミュレーション技術等の研究開発を行う。

### 期待される効果

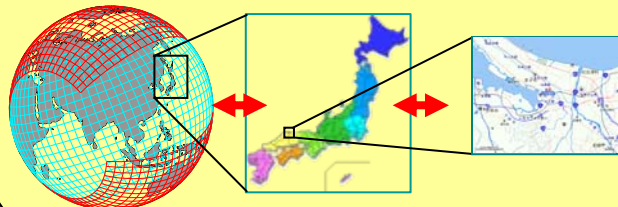
- 気候変動適応に関する研究ポテンシャルの大幅な底上げ
- 適応策検討への科学的知見の提供
- 気候変動による影響に強い社会の実現に貢献



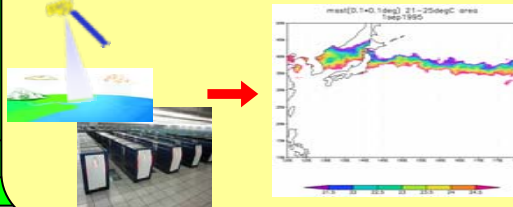
### 研究課題(イメージ)

各地域における適応策検討に対して科学的知見を提供するため、適応のための基礎的・基盤的研究開発を有機的に連携して実施。

#### 先進的なダウンスケーリング手法の開発



#### データ同化技術の開発



#### 適応シミュレーション技術の開発



地域  
A、B、C・・・

解析空間の提供



### 地球観測データ統融合プログラム

- 収集した地球観測データや気候変動予測結果、社会経済データ等を統融合し、科学的・社会的に有用な情報に変換する共通の解析処理プラットフォームを整備・運用